

● ふれあい

## 新春 雜感

〔統計課〕戌年生まれの方から“ひと言”



### 取り留めない思い

分析情報グループ

課長補佐 高久繁文

新年はめでたいものと相場が決まっているのですが、5回り目の干支を迎える歳ともなれば佗しさが先立ちます。年々の体力的衰え、昨今の経済崩壊や気象異変を考えると、21世紀という言葉の響きの明るさよりも世紀末のもつ雰囲気が身にしみてきます。「世界の終末予言」などという本を読むと、幾分かは信じる気持にもなります。アーサー・C・クラークが「未来のプロフィル」の中で引用している、パートランド・ラッセルの挽歌詞の一節では、「……あらゆる時代のあらゆる労働も、あらゆる献身も、あらゆる靈感も、あらゆる天才の白昼のごとき明晰さも、太陽系の死と同時に滅亡の運命にあること。そして人類の建設したすべての寺院が滅びゆく宇宙の廃墟の下に埋もれてしまわねばならぬということ……これらすべてのこととが、かりにまったく論議の余地がないわけではないにしても、このことがほとんど確定的であるため、それらを否定しようとするいかなる哲学も存在する望みは持てないのである」と言っています。「いつの日にか宇宙は冷たく暗くなっていき、やがて死滅するのだろうか。しかし、また再び爆発して新たな輪廻を迎えることになり、死と再生を繰返していくのだろうか。全宇宙を貫く意思(法則)はあるのだろうか。たとえ存在するとしても、理解できないものであるが、そのような神ともい

えるものに巡り会いたい。そして、それに帰依して生きていくことができるならば、完全な人生を生きることになるのではないか。」20歳の頃真面目にこのようなことを考えたものがありました。



### 今年の運勢

庶務グループ

主任 長山敏則

今年の干支は「甲戌」ですが、独断と偏見で今年の様相を占ってみます。

まず、十干の「甲」ですが、この文字は、芽が殻を破って外に発現した象形文字で、物事のはじめとか、はじめという意味から十分慎重でなければならないのでつづしむとか、法令・制度という意味があるとのこと。そこで、今話題になっている政治改革関連法案は、「甲」の文字が示すように成立すると予測します。

一方、「戌」は茂という文字と同義語で、枝葉が茂るが、それによって日当りが悪くなるという意味があります。ここでまた今の連立政権は、全体としては勢いを保ちながら、枝葉の部分では日当りが悪くなる、つまり一部の構成メンバーが抜けて、別のメンバーが新たに加入するなどして勢いを保っていくと予測します。

果たしてこの占いが当たるでしょうか。占いには当たるも八卦当たらぬも八卦という言葉がありますが、いずれにしても今年もまた最近言われ続けられている「激動の年」となり、何が起こっても不思議でない年になるような気がします。



## 36歳年男

普及指導グループ

主任 池田 淳

今年が3回目の年男ということで、この欄に原稿を依頼されてしまったのですが、何分文章を書くのが苦手なもので、何を書いたらよいか迷っています。

とりあえず、年齢のことでも考えてみると、今年で36歳ということで、世間一般からみれば、おじさんの域にあるわけですが、本人は20代のつもりでいるので、実感としてわいてきません。しかし、この先何年生きられるのかはわかりませんが、現在の平均寿命から考えれば、すでに人生も折り返し点にきてしまっていることになります。

振り返ってみると、ついこの間のような気がしていたのに、早いもので就職して12年が経ちました。ちょうどこの前の年男の時は、就職したばかりで、仕事を覚えるのに無我夢中でした。それからの12年間は、仕事ではそれ程大きな失敗もせず、それなりにこなし、(と自分では思っているのですが) 私的なことでは、一生縁がないんじゃないかなと思われていた結婚もすることができ、充実したとは言えないまでも、まあまあ順調に過ごしてこれたような気がします。

後2回年男を迎えると、60歳ということで退職する年齢になってしまいます。まだまだ先はあると思っていてもすぐに時間は経ってしまうものな

ので、あまり後悔する事がないような人生が送れたらいいなと思っています。



## 新年にあたって

分析情報グループ

主任 和田 弘俊

ついに私も、3度目の年男となってしまいました。12年前は、県職員になって2年目になる年で障害神社課におきました。当時を思い出してみると、何もわからず、先輩の後を一生懸命追いかけていたという状況でした。当時、職務は、身体障害者手帳の交付でしたが、この12年の間に、まさか自分自身がその手帳をもらうはめになるとは思いもよりませんでした。健康の大切さというものをいやというほど思い知らされました。

でも、同時に、人間の暖かさや友人の大切さを感じました。そして、この12年間に様々な人と知り合いました。病気で入院している時、お見舞いにかけつけてくれた人、私の顔を見て涙まで流してくれた人、退屈だろうとマンガ本をたくさん持つて来てくれた人等々しみじみ有難いと思いました。

今年からまた新しい12年が始まります。今度の12年では、どんな新しい出会いがあるのでしょうか。新しい出会いを大切にすると同時に、これまで出会った人々とも、より一層親交を深めていきたいと思います。

この次、4回目の戌年の時には、さらに多くのすばらしい出会いがあったと皆さんに報告できるような12年間を過ごせるように努力したいと思います。